The Monthly Journal of MEXT

MAY 2019 5
No.234

文部科学広報

文部科学省 編集

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

特集１

専門職大学・専門職短期大学制度がスタート

～2019年4月に新しいタイプの大学が55年ぶりに誕生～

特集２

動画シリーズ：新学習指導要領が目指す外国語の授業改善

◆MONTHLY LINE UP

2019年3月10日（日）～11日（月）文部科学省委託事業「数学アドバンストイノベーションプラットフォーム（AIMaP）」・JST CREST／さきがけ合同シンポジウム　数学パワーが世界を変える2019／第22回文化庁メディア芸術祭受賞作品発表～3月1日、東京・銀座で記者発表会開催～／有形文化財（建造物）の登録について／国宝・重要文化財（美術工芸品）の指定について／

The Monthly Journal of MEXT

文部科学広報

2019年5月号／No.234

特集1
専門職大学・専門職短期大学制度がスタート
～2019年4月に新しいタイプの大学が55年ぶりに誕生～ …… 1

文部科学省高等教育局専門教育課

専門職大学とは？ …… 1
専門職大学はなぜできた？ …… 2
専門職大学の五つの特徴 …… 2
どんな大学がありますか？ …… 4
おわりに …… 4

特集2
動画シリーズ：新学習指導要領が目指す外国語の授業改善 …… 6

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室

中学校では、自ら「言いたいことをどう表現するか」考えることが大切 …… 6
高等学校では、生徒の将来を見据えたチームでの授業設計を …… 7
高等学校は、統合的な言語活動の充実がポイント …… 8
中学校学習指導要領の移行期間における教師用指導資料を公開 …… 9
今後も、ホームページ上に参考資料を継続して公開 …… 10

文部科学省FLASH

2019年3月10日（日）～11日（月）
文部科学省委託事業「数学アドバンストイノベーションプラットフォーム（AIMaP）」・JST CREST ／さきがけ合同シンポジウム
数学パワーが世界を変える2019 …… 11

第22回文化庁メディア芸術祭受賞作品発表
～3月1日、東京・銀座で記者発表会開催～ …… 14

有形文化財（建造物）の登録について …… 18

国宝・重要文化財（美術工芸品）の指定について …… 21

文部科学省「情報ひろば」NAVI Navigation

「文部科学省エントランス」及び「企画展示室」において新たな企画展示を開始しました！ …… 24

特集1

専門職大学・専門職短期大学制度がスタート

～2019年4月に新しいタイプの大学が55年ぶりに誕生～

文部科学省高等教育局専門教育課

2019年4月に専門職大学・専門職短期大学制度がスタートしました。

新しいタイプの大学制度が創設されるのは、1964年の短期大学制度創設以来55年ぶりです。

専門職大学・専門職短期大学とはどんな大学なのか、制度創設の背景や特徴について説明します。

専門職大学とは？

専門職大学・専門職短期大学（以下「専門職大学」と言う。）は、特定の職業のプロフェッショナルになるために必要な「知識・理論」と「実践的なスキル」の両方を身に付けることのできる大学です。

教育課程（カリキュラム）は、産業界、地域社会と大学が連携して編成し、講義だけでなく、学内・学外での実習が豊富に組まれています。

卒業後は、即戦力の専門職として、そして現場の最前線に立つリーダーとして活躍が期待されます。

さらに、専攻する職業に関連する他分野も学び、専門分野と掛け合わせることで、前例にとらわれないイノベーションを起こし、就職した業界や職業の変化をリードする人材が育つことも期待されています。

このように、専門職大学では、優れた専門技能等をもって、新たな価値を創造することができる専門職業人材を養成します。

なお、専門職大学は、学校教育法第一条の「大学」に位置付けられており、決して既存の大学よりも一段低い高等教育機関ではありません。質の高い職業教育を行う高等教育機関として、従来のアカデミックな大学と並び立つ新しいタイプの大学であることに御留意ください。

従来の大学や専門学校との違いは？

従来の大学は幅広い教養や学術研究の成果に基づく知識・理論とその応用の教育、すなわち、比較的、学問的色彩の強い教育が多くなっています。

また、専門学校は、資格試験合格など、特定職種の実務に直接必要となる知識や技能の教育、すなわち実践的な教育が多くなっています。

専門職大学では、従来の大学と専門学校の長所を取り入れて、理論にも裏付けられた「高度な実践力」と「豊かな創造力」を身に付けることができます。

大学、専門学校との違い

	修業年限	教員組織	学位・称号
専門職大学・専門職短期大学	大学：4年 短大：2年 または3年	• 実務家教員を積極的に採用 • 理論と実践を架橋する教育課程に必要な研究者教員・実務家教員を適切に配置	〈学位〉 学士（専門職） 短期大学士（専門職）
大学・短期大学	大学：4年 または6年 短大：2年 または3年	• 研究者教員が中心	〈学位〉 学士 短期大学士
専門学校（専修学校専門課程）	1年以上	• 実務に関する知識・技能を有する教員が中心	〈称号〉 専門士 高度専門士

専門職大学はなぜできた？

専門職大学は、政府の教育再生実行会議や文部科学省の中央教育審議会、そして国会での審議を経て学校教育法の一部が改正され、２０１９年度から制度化されました。その背景を説明します。

学生の多様化

大学・短期大学への進学率上昇に伴い、進学する学生も多様化しています。アカデミックな教育を受けることに意欲・適性を持った人ばかりでなく、職業技能の教育に適性を持った人もいます。しかし、高学歴志向・大学志向の流れに沿って、多様な学生が同一の尺度で大学選びを行っている結果、入学後に、十分な目的意識や意欲を持って学修に取り組めないなどのミスマッチが生じている例も少なくありません。

また、変化の激しい社会においては、社会人の学び直しニーズへの対応も必要です。

学生の多様化に応じて教育も多様化していくことで、個人の能力と可能性をより一層開花させることが期待されます。

産業・職業の状況

21世紀の経済社会においては、知識・技術が日進月歩の進化を遂げ、イノベーションの波も押し寄せ、産業構造の転換のスピードはますます速くなり、各企業等は、より流動的で先行き不透明な状況の中での競争に面しています。

新しい産業・職業が次々と生まれる一方、今ある職業の多くが、近い将来、新たな職業に入れ替わっていくことも想定されます。多くの仕事が機械やコンピューターに置き換えられ、人が担う業務は、より人間的なコミュニケーションを伴う業務へと移行することが予想されます。

今後の職業人養成の在り方

このような中で、日本が今後も成長・発展を続けていくためには、成長分野等への人材シフトを円滑に進めるとともに、事業の現場で様々な変化への対応を推進していくことが不可欠です。成長分野等において必要な能力を育成するとともに、とりわけ、変化への対応が求められる中で事業の現場の中核を担い、現場レベルの改善や革新（イノベーション）をけん引していける人材の養成強化が課題となります。こうした人材が、事業活動の最前線に立ち、新規事業への進出や海外展開等に際しても、中核的な役割を果たしていくようになることが期待されます。

以上のような観点から、現在の職業の中での専門性を高めるとともに、将来の変化を見据えたより幅広い力を育てるという両面に応えた人材育成が必要です。

すなわち、座学や理論の教育のみにとどまらず、産業界等と連携して、①専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、②専門の中で閉じることなく、変化に対応する能力や、生涯にわたり学び続けるための力（基礎的・汎用的能力や教養等）を備えた人材を養成することが求められます。

現行の大学が自らの判断でこのような人材養成を推進することも可能です。しかし、各大学の判断に委ね、事実上の取組を待つのみでは、社会の要請にすばやく応えていく上では十分とは言えません。質の高い実践的な職業教育を行う大学の姿を示して、その仕組みを制度的に義務付けることで社会が求める専門職業人養成を加速させることが期待できます。

専門職大学の五つの特徴

専門職大学では、「基礎科目」で特定の分野にとらわれない一般的な基礎・汎用科目や生涯にわたり学び続けるためのリテラシー科目を学修します。そして「職業専門科目」で特定の職業に関する専門的な科目を学修します。「展開科目」では他分野について学び、応用力・創造力を身に付けます。最後に「総合科目」でそれまでに学んだことを統合し、実践力と創造力を総合的に向上させます。

特徴１　授業の３分の１以上は実習・実技

特定の職業に関する卓越した技能を育成するため、卒業に必要な単位の約３分の１以上を実習・実技科目としています。そのうち、20単位以上（４年制の場合）は企業等での実習です。

また、企業等の現場で現に取り扱われている生

きた知識・技能を教えるため、実務の経験を有する教員（実務家教員）を数多く配置します。

さらに、教育課程（カリキュラム）は産業界や地域社会の意見を聴いて編成され、なりたい職業に直結する内容となります。

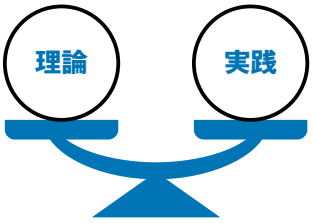
このような豊富な実習等で就職後に役立つ高度な「実践力」を身に付けます。

実習・実技で
実践力を強化

特徴2　理論と実践をバランスよく学ぶ

実践的な教育だけでなく理論の教育も重視しています。座学で学んだ理論の知識を実習等での実体験を通じて定着・発展させます。

授業は、理論に精通した研究者と各業界の現場経験豊富な実務家の両方から受けられます。また、大講義室等での一斉指導中心の授業ではなく、実践的な職業教育の授業を効果的に実施できるよう、原則40人以下の少人数授業が行われます。



理論と実践を
バランスよく
学ぶ

特徴3　超・長期の企業内実習で現場を体験

4年制大学の場合、通算600時間以上にもおよぶ超・長期の企業内実習を行います（例えば、1日8時間、週5日の場合、3～4か月）。

企業内実習は、実習先に丸投げすることなく専門職大学が主体的に実習先との協議のもと、学習内容や到達目標、成績評価基準等を設定します。学生は、実際の現場で生きた知識と技術を学び、問題解決できる思考力も養います。

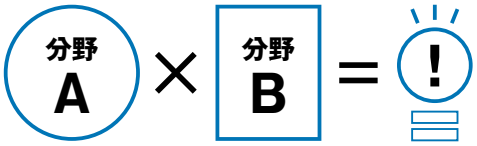
企業内実習は
600時間以上

特徴4　専攻する職業に関連する他分野も学び応用力を身に付ける

専門職大学では、専門分野のみならず関連する他分野も学ぶことが制度上義務付けられています（4年制の場合、20単位以上）。

例えば、医療福祉の分野では今後、ＩＣＴやロボットの導入、新サービスの事業化等が更に進むことが予想され、医療福祉の知識だけでなく、情報学や経営学など異なる分野の知識を身に付けることにより、さらなる活躍が期待されます。

専門分野の能力に加えて他分野の能力も身に付け、それらを掛け合わせることで、変化に対応して新たなモノやサービスを創り出すことができる創造的な人材を養成します。



他分野も学び豊かな
創造力を養う

特徴5　大学卒（短大卒）の学位がとれる

卒業生には、学士（専門職）、短期大学士（専門職）の学位が授与されます。これらの学位は、一般の大学が授与する「学士」「短期大学士」に相当するものです。

大学卒・短期大学卒の人材として就職や大学院進学、留学ができます。

学位を取得

どんな大学がありますか？

専門職大学は、成長分野、例えば、農業、情報、観光、医療・保健、クールジャパン分野（マンガ、アニメ、ゲーム、ファッション、食など）等での開設が期待されています。

専門職大学を開設するためには、文部科学大臣の認可を受ける必要等があります。制度初年度である２０１９年度は3校が開設されました。各校の概要は次ページを御覧ください。

おわりに

どのような学生に向いていますか？

やりたい仕事、なりたい職業がすでに決まっている「スペシャリスト志向」の学生や、高度な実践力を身に付け、成長分野や地域産業の変革の担い手になりたい学生、専門高校で学んだ経験をいかして進学したい学生などに適した大学です。

卒業生に期待されていることはありますか？

専門職大学の卒業生は、在学中に専攻する職業の理論と実践をバランスよく学んだ人材として、卒業後には即戦力の専門職として、そして現場の最前線に立つリーダーとしての活躍が期待されています。

さらに、専攻する職業に関連する他分野も学び、応用力を身に付けることにより、前例にとらわれないイノベーションを起こし、就職した業界や職業の変化をリードする人材として活躍していくことも期待されています。

進路の選択肢の一つとして

専門職大学は、今後、様々な職業分野で開設が進むことが期待されています。また、「専門職学部・専門職学科」の制度も設けましたので、既存の大学の中に専門職学科が開設されることも期待されています。

受験生やその保護者の皆様、進路指導担当教員等の皆様におかれましては、進路を御検討する際の選択肢の一つとして御検討いただけますと幸いです。

また、産業界や地域の関係者の皆様におかれましては、専門職大学の運営に御協力賜りますようお願い申し上げます。

※専門職大学制度について紹介するスマートフォンサイト及びYouTube動画を作成しましたので御覧ください。

国際ファッション専門職大学
国際ファッション学部
東京都、大阪府、愛知県

本学は日本で唯一、「ファッション」「ビジネス」の専門職大学として、世界のファッション産業界と連携し、国際的に活躍できるリーダーを育成します。

本学部では、クリエイションからビジネスに至るまでのファッション業界の流れを包括的に理解し、産業界の未来を創造する国際教養を養います。指導陣には、国内外の有名ブランドやファッション業界のプロ経験を持つ実務家教員を多数配置しています。海外実習・インターンシップ先は、欧米・アジアなど海外の幅広い地域から選択できます。

国際ファッション専門職大学テレビCM

高知リハビリテーション専門職大学
リハビリテーション学部
高知県

本学では、全国に先行し高齢化が進行する高知県という地域の特性を踏まえ、健康寿命の延伸や介護予防等の地域住民の健康増進、高齢者や障がい者の自立支援、障がい児の教育支援、障がい者の就労支援や生活活動支援等の地域社会の取組において、多職種と連携・協働し、中核的な役割を担える理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を育成します。基盤となる実践的な知識と技術に加え、医療や介護に資する機器の研究・開発や、支援サービスの開発等、専門性を主体的に探究する能力も育成します。

高知リハビリテーション専門職大学校舎

ヤマザキ動物看護専門職短期大学
動物トータルケア学科（修業年限3年）
東京都

1967年の創立以来、動物看護分野のパイオニアとして教育・研究に邁進してまいりました学校法人ヤマザキ学園は、産業界とともにつくる新制度の専門職短期大学の第1号として、東京都渋谷区松濤に本学を開学しました。本学科では、日本の高齢社会に対応し、コンパニオンアニマルの生から死までに寄り添う「訪問看護・在宅ケア」を特色に科目を配置しました。人と動物の豊かで平和な社会を構築し、ペット関連産業の発展に寄与すべく、産業界と消費者（飼い主）と動物をつなぐ新しい価値観を持った動物看護師を養成します。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学
訪問看護・在宅ケアイメージ

特集2

動画シリーズ：新学習指導要領が目指す外国語の授業改善

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室

外国語教育推進室では、文部科学省公式チャンネルであるYouTube mextchannelにおいて、新学習指導要領のポイント、授業改善のポイントを動画で公開しています。今号では、中学校外国語・高等学校外国語の授業改善に資する動画について御紹介します。また、中学校での指導にすぐに活用できる指導例を、文部科学省ホームページに公開し、現場の先生方を強力にバックアップしています。

～今回御紹介した「YouTube動画シリーズ」にはこちらからアクセス！～
https://www.Youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f

中学校では、自ら「言いたいことをどう表現するか」考えることが大切

茨城県下妻市立下妻中学校に御協力いただき、中学校学習指導要領のポイントを示す授業動画及び山田誠志教科調査官と木村涼子教諭との対談動画を収録・公開しました。

英語でやり取りできる生徒の育成を目指して

授業は、教科書を開かず、プロジェクターで投影した本日学習する教科書のページの挿絵と、その絵について説明する木村涼子教諭が話す英語を聞く活動で始まります。昔ながらの、「教科書の○ページを開きましょう」という指示に従い、教科書本文を読む活動ではありません。その後、木村教諭は、何人かの生徒を指名し、聞き取った情報について英語で確認していきます。指名された生徒も、何とか英語で答えようとすることが習慣となっており、英語の授業は基本的に英語で進行していくことが自然になっています。

こうした教師と生徒のやり取りを経て、この時間のメインの活動である、「willを使ったやり取り」が始まります。ここでも、かつての授業のように、「助動詞willは未来のことを表し、その直後には動詞の原形がきます。」と言った説明はありません。

生徒も、戸惑う様子はなく、「きっとこういう意味だろう。」「willを使えばいいんだな。」などと、推測しながら、自分の言いたいことを考え、「間違えてもよいから、まず口に出してみよう。」という姿勢がうかがえます。生徒はペアになり、お互いの週末の予定について、その理由を含めたやり取りを笑顔で行うことができました。

本時のねらいについて（対談動画より）

聞き手：今回の授業に当たり、先生がねらいとしたことは何ですか。

木村教諭：助動詞willを使い、これからしようとすることを友達とやり取りできるようにすることをねらいの一つとしました。生徒が自分の考えを友達とやり取りし、情報を交換できるように、工夫をしました。具体的には、生徒の生の声、自然な

表情がたくさん生まれるような授業にしたいと日頃から考えています。

生徒が本当に言いたいことを言わせる授業が大切

聞き手：授業を振り返って、率直な感想を聞かせてください。

木村教諭：今回の授業では、これまでの授業と大きく変えたことがあります。それは、「文法などの学習事項を繰り返し練習し、指導する授業をテンポよく行う」ことから、「生徒の意見を引き出すために、言いたいことをじっくり考えさせる時間を与える」ことに変化させたことです。今までは、定型文を機械的に覚えさせることを目標とした指導により文法等を暗記させ、モデル会話を繰り返し練習してできるようにすることで、教師自身も安心している部分がありましたが、それでは、生徒が本当に言いたいことをやり取りすることはできないということに改めて気付かされました。

教師が対話をコントロールせずに、生徒に任せると、こちらが想像もつかないことを、子供たちは何とか英語を使って表現しようと努力します。最初は子供たちも戸惑っていましたが、今では、対話を楽しみながら、自然に英語を使うようになっています。

高等学校では、生徒の将来を見据えたチームでの授業設計を

高等学校における学習指導要領のポイントについて、立教大学松本茂教授のインタビュー動画を収録・公開しました。

外国語を学ぶことで人生を豊かに

聞き手：グローバル化が進み、また社会の変化の予測がつきにくい時代に、どのような資質・能力を育成することが重要になるでしょうか。

松本教授：これからの時代、基本的にすべての子供たちにとってグローバル化はますます重要になると思います。外国の方と仲良く、軋轢（あつれき）のない社会を作るためのグローバルマインドを持つために、外国語を学習するという体験は非常に重要です。また、外国語ができることによって、経済的な豊かさだけではなく、自分の人生が精神的にも豊かになるということを生徒たちには体験してもらいたいと願っています。英語を公用語の一つとする日本の企業も増えてきているので、今よりも外国語の力が必要になると思います。

授業で生徒が英語に触れ、使う機会を増やす

聞き手：前回の高校学習指導要領改訂のときから授業は英語で行うことを基本とするということを入れました。これについてはどのようなことがポイントになるとお考えでしょうか。

松本教授：基本的には生徒がたくさんの英語を使って授業をコミュニケーションの場とするというのが重要です。教師がずっと英語をしゃべっているのを想定しているわけではなく、生徒が家庭で準備してきたことを授業中に他の生徒とやり取りをする、発表する、質疑応答をするなどの活動で英語を使う場面を増やしてくださいということが趣旨だと考えます。教師が英語で文法の説明をするとか、問題演習を教師が英語で指示するということではなく、授業を通して、生徒が英語に触れる機会を増やすということがポイントということです。

学校が目指す教育の共有と指導方法の継承がカギ

聞き手：チームとしての学校という観点からも英語教育についてヒントをいただけますでしょうか。

松本教授：一つは、やはり校長先生をはじめとした管理職がどういう教育を目指すのかということについて、はっきりと提示してほしいということです。もう一つは、英語科の教師の足並みが揃わず、ばらばらでチームになっていない状況の改善です。同じ高等学校の英語教師が、多少の個性の違

いはあれど、基本的には、扱う教材、授業のペース、評価方法、授業のスタイルを揃えて実施できるように、求めるべき学習の成果や「英語を使って何ができるようにするか」という学習到達目標を設定することが大切です。

生徒の将来を見据えた長期的な視野で授業設計を

聞き手：それでは最後に高校の先生方に何かメッセージを頂ければと思いますが、いかがでしょうか。

松本教授：高校の先生方は本当に大変だと思います。朝から晩まで働いていますし、敬服するばかりですが、やはり生徒が40歳50歳になったときにどういう社会になっていて、そのときにどういう英語が必要なのかということを是非考えてほしいと思います。もちろん近々には大学入試というのがあるかもしれませんが、その先を見据えてどういう人になってほしいか、どういう力をつけてほしいのか、そのためには今の高校の英語教育はどうあるべきなのかという、長いスパンで考えてほしいと思います。大学入試を体験しないような生徒さんが多い学校においても同様で、社会に出てから英語ができればより良い仕事や、より良い貢献ができるというような発想で、何年かしたらこんなことをしてもらいたいな、あんなことをしてもらいたいなということを考えて授業設計をしていただきたいと思います。

高等学校は、統合的な言語活動の充実がポイント

茨城県立取手第一高等学校及び千葉県立松戸国際高等学校に御協力いただき、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の様子と、授業者へのインタビューを公開しています。（聞き手：下山田芳子教科調査官）

授業展開例　1
千葉県立松戸国際高等学校　安斎 祐介 教諭

安斎教諭は、日常的な話題について、使用する語句や文を示しながら、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りをする指導を継続しています。

また、「読むこと」の活動を踏まえた「話すこと」の活動では、課題の遂行に当たって生徒がどの程度自分の力で対処できるか、どのような配慮があれば課題を遂行できるかなどを考慮しています。生徒がグループワークを行っている途中で、各グループの生徒とやり取りをしながら、要点をつかめているかを確認することで、生徒が内容を理解するための援助を行っています。また、グループワークの後にはペアで伝え合う活動を行い、生徒が発話する機会を増やすなど、学習形態について適宜工夫しています。

授業展開例　2
茨城県立取手第一高等学校　花沢 典行 教諭

本時は「仮定法過去」を扱う授業ですが、用語や用法の説明から入るのではなく、授業の一週間後に控えた修学旅行を取り上げるなど、生徒の興味を引く話題を選びながら、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で取り扱ったり、既習事項との違いに気づかせたりして学習を進めていきます。

さらに、活動を行う前に評価の規準を提示することで、どこに気を付けて活動に取り組めばよいの

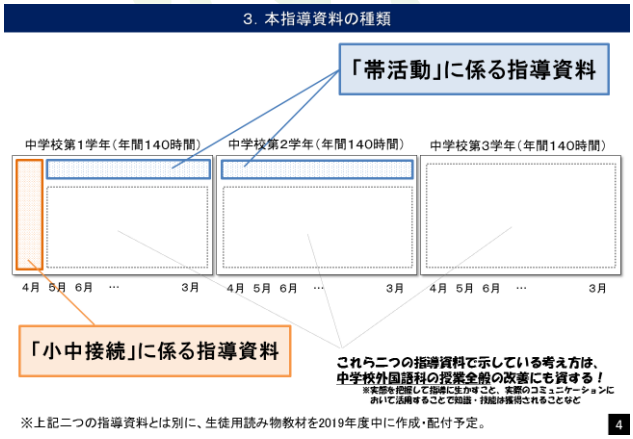
動画シリーズ：新学習指導要領が目指す外国語の授業改善

か生徒自身が把握し、自律的な学び、主体的な学びを促しています。また、英語の授業を通して英語力を伸ばすことはもちろん、ミスを恐れずにチャレンジする姿勢や他者の意見を受け入れる姿勢、仲間と協力する姿勢を養うことを重視しています。

中学校学習指導要領の移行期間における教師用指導資料を公開

文部科学省では、学習指導要領、解説に書かれている理念、ポイントを具体化した授業が全国の学校で広く展開されていくことを目標とし、今回御紹介した動画シリーズをはじめ、様々な方法で先生方を力強く支援してまいります。

この度、中学校の授業改善に資する指導資料を文部科学省のホームページにアップしました。



小中接続に係る、中学校1年生4月の指導例

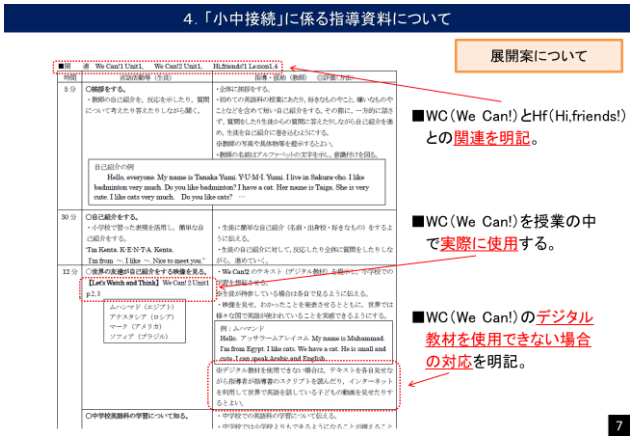
小学校での学習内容が増加することを踏まえ、中学校では、特に入学直後の段階において、小学校での学習事項を生かした指導を行うことが求められています。

そこで文部科学省では、中学校の教科書の学習に入る前の段階を想定した、12時間分の指導例を公開しました。

指導例の作成に当たっては、

○ 現在小学校で使用されているWe Can!に準拠
○ We Can!のデジタル教材や言語活動等を再利用
○ 授業で使用するワークシートの一部を提供
○ アルファベットの読み・書きについても、改めて丁寧に指導

の四つの項目を大切にしています。



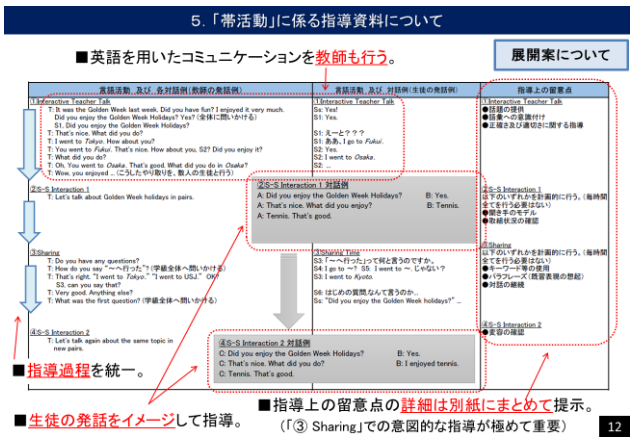
帯活動に係る、中学校1～2年生用の指導例

小学校の外国語科の授業では、簡単な表現を用い、互いの考えや気持ちをやり取りする活動（Small Talk）を取り入れています。中学校でもこの活動を継続し、新学習指導要領で新たに取り入れられた話すこと［やり取り］の言語活動が、すべての中学校で積極的に行われるようにすることを目的とし、10分程度で実施できる活動例を公開しました。

指導例の作成に当たっては、

○ 身近な話題で、考えや気持ちがやり取りできる
○ 対話を継続させる表現が身に付けられる
○ 語彙の増加に対応できる
○ 活動→指導→活動の学習プロセスが定着する

の四つの項目を重視しています。



今後も、ホームページ上に参考資料を継続して公開

小学校学習指導要領の全面実施を翌年に、中学校学習指導要領の全面実施を2年後に控え、全国の小学校及び中学校では、スムーズな移行に向けた準備が進んでいます。文部科学省としても、先生方を強力にバックアップできるよう、今回御紹介した動画資料や指導例の公開などを、今後も継続してまいります。

また、全国の都道府県等指導主事が集う連絡協議会での最新情報の周知、教科調査官の全国での講演や講義での伝達などの機会も活用し、すべての学校で、授業改善が進んでいくように努めてまいります。

★今回御紹介した指導資料は、コチラ！

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1414459.htm

「文部科学省」「中学校外国語」「移行期間」「指導資料」で検索！

★コチラで、外国語教育全般の情報をゲット！

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/index.htm

「文部科学省」「外国語教育」で検索！

2019年3月10日（日）～11日（月）
文部科学省委託事業「数学アドバンストイノベーションプラットフォーム（AIMaP）」・JST CREST／さきがけ合同シンポジウム

数学パワーが世界を変える2019

文部科学省研究振興局基礎研究振興課

ビッグデータや人工知能（AI）の背後にある「数学」。数学パワーをいかに発揮するかが今後の発展のカギを握っています。文部科学省の取組における成果を一般の方に向けて発信する場として本シンポジウムを開催したので紹介します。

はじめに

昨今、ビッグデータの活用やAI（人工知能）の急激な進歩が注目を集めるようになっています。そして、これらの技術の急激な進歩は、情報科学分野のみならず数学の力を活用したものであると言えます。

しかしながら、このような「数学」の持つパワーは外からは見えづらく、一般的に広く知られているとは言えないのが現状です。このような「数学の持つパワー」を一般の方々にも知っていただくため、シンポジウム「数学パワーが世界を変える2019」を、3月10日（日）から3月11日（月）の2日間にわたり、東京ガーデンパレスにて開催しました。

数学パワーが世界を変える2019 ポスター

「数学パワーが世界を変える2019」の開催

1日目：CREST・さきがけ・AIMaP合同シンポジウム

初日の3月10日（日）は、午前10時の開会時には満員に近い盛況となり、熱気あふれる中での開会となりました。

まず、文部科学省の千原由幸大臣官房審議官、科学技術振興機構の後藤吉正理事から開会挨拶の後、午前中は、「最適化／マッチング問題とその応用」について発表が行われました。まず、東京大学大学院情報理工学系研究科の岩田覚教授（CREST「数理モデリング」領域）から微分代数方程式モデルの最適化について発表がありました。続いて、株式会社富士通研究所 人工知能研究所の岩下洋哲氏、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所の神山直之准教授（さきがけ「数学協働」領域）から、保育所の入所希望者と入所先の保育所とのマッチングについて、「きょうだいを同じ保育所に入れる」という条件を課すと問題が難しくなることが紹介され、この問題に数学的アプローチで取り組むことにより、これまでは市町村の担当者が多くの時間を費やしてきた保育所入所選考の業務が自動化され、市町村などで実用化されている事例が紹介されました。

その後、川上量生カドカワ（株）取締役から「経営に数学は必要か」と題して招待講演が行われ、ビジネスにおいてどのような数学が必要とされるのか、数学によってどのように世界が広がるのか、などについての講演が行われました。

午後は「生命現象の数理とその応用」について発表が行われました。まず、北海道大学大学院理学研究院の栄伸一郎教授より「分化の波を通して見る数理モデル構築と解析のための新しい試み」と題して、ショウジョウバエの視覚中枢における細胞分化のメカニズムを記述する数理モデル構築を目指した研究が紹介されました。続いて、この数理モデルを検証するための実験研究を行っている、金沢大

講演会場の様子

学新学術創成研究機構の佐藤純教授からも「昆虫の複眼におけるタイリングパターンの制御メカニズム」と題した発表が行われるとともに、広島大学大学院理学研究科の李聖林准教授からは、「生命科学の美と不思議、そして謎解き屋の反応拡散方程式」と題した発表が行われました。

さらに、AIMaP事業の公開ワークショップが行われ、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所の福本康秀教授よりAIMaP事業の概要が紹介されました。その後、本事業を通じて数学と諸科学分野・産業との協働が進化しつつある三つの事例が紹介されました。

まず、東京大学大学院数理科学研究科の時弘哲治教授からは、数理科学研究科と農学生命科学研究科との合同の合宿型研究集会をきっかけに、釣った魚の肉の品質が劣化するプロセスの解明を目指した共同研究につながった事例が紹介されました。この研究では、釣った魚が大気にさらされることにより魚肉中のタンパク質分解制御系が破たんし、タンパク質分解が暴走することが魚肉の品質劣化の一因として考えられることが明らかにされました。

次に、北海道大学電子科学研究所の寺本央准教授からは、非ノイマン型計算に関するワークショップをきっかけに北海道大学と日立製作所とのイジング型計算機に関する共同研究が加速し、インターネットを通じたプログラミングコンテストの優勝者のアイデアをもとに開発したアルゴリズムが既存の標準的なアルゴリズムを上回る性能を示すなどの成果が紹介されました。

最後に、（株）村田製作所の檜貝信一氏からは、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所／大学院数理学研究科と東京大学大学院数理科学研究科とのスタディグループワークショップにおいて、リチウムイオン電池の全固体電池化に必要となる、固体電解質中のリチウムイオン伝導機構の解明に数学の力を借りられないかという問題を数学者に対して提起し、共同研究につながった事例などが紹介されました。

AIMaP公開ワークショップの様子

参加者アンケートでも回答者の4割近くが「期待以上」と答えるなど、多くの参加者から面白かったという声が寄せられる講演となりました。

「数学パワーが世界を変える2019」の開催

2日目：さきがけ「数学協働」2期生成果報告会

2日目の3月11日（月）は、さきがけ「数学協働」領域の2期生9名から、研究成果が発表されました。そして、企画セッションとして、9名のうち4名の研究者（大森亮介、中嶋浩平、永田賢二、奈良高明の各氏）から、数学以外の分野の研究者と話をする際にどのような困難があるか、その困難をどうすれば乗り越えられるか、その先にどのような良いことがあるのか、などについて具体的な研究事例が紹介され、議論が行われました。

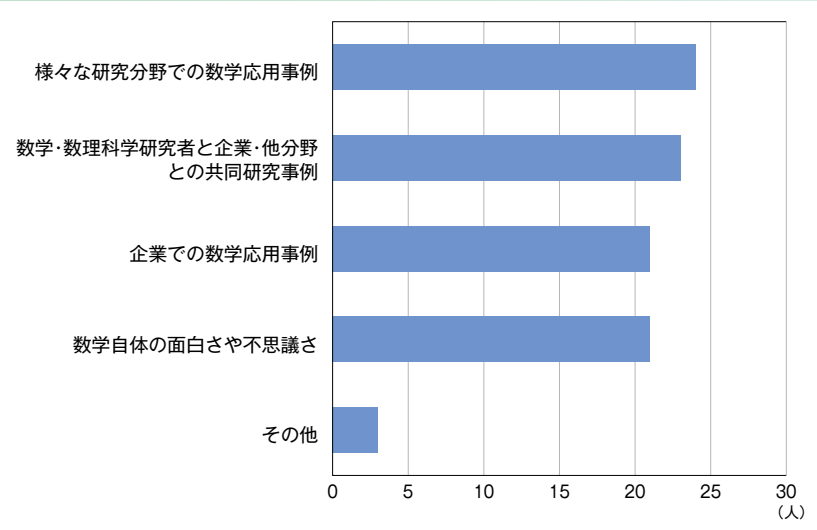
このほかに、CREST「数理モデリング」領域の各チームの研究者やさきがけ「数学協働」領域の研究者などから、合計53件のポスター発表が2日間にわたって行われ、会場は満員の盛況で熱気に満ちた議論が行われました。

ポスター発表の様子

おわりに

このイベントは、２０１７年２月に初めて開催され今年で３回目を迎えたものです。今回のイベントには、１日目１２８名（うち企業15名、大学等99名、その他14名）、２日目73名（うち企業５名、大学等64名、その他４名）の参加があり、特に１日目は立ち見も出るなど、数学パワーへの関心の高さがうかがえました。

参加者アンケートでは、今後聞きたいテーマとして、「様々な研究分野や企業での数学応用事例」や「数学者と他分野・企業との共同研究事例」を挙げる方が多く、これも参考にしつつ今後も引き続き数学パワーの発信に努めてまいります。



「今後、数学・数理科学関係でどのような話を聞きたいか」に対する参加者の回答

第22回 文化庁メディア芸術祭 受賞作品発表

～3月1日、東京・銀座で記者発表会開催～

文化庁参事官（芸術文化担当）付

第22回文化庁メディア芸術祭の受賞作品が決定し、平成31年3月1日に東京・銀座のGinza Sony Parkで記者発表会を開催しました。

チコちゃん等受賞者が駆け付け 受賞作品発表

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

第22回文化庁メディア芸術祭の作品募集は、2018年8月1日に開始、10月5日をもって終了し、今回も多くの作品が寄せられ、応募総数は4384作品となりました。海外からは過去最多の101の国と地域から2453作品の応募がありました。また、アート部門の応募は過去最多の2501作品となりました。

各部門の審査委員による審査を実施し、高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞、優秀賞、新人賞を選定。受賞作品を、功労賞と審査委員会推薦作品とともに2019年3月1日に発表しました。

記者発表会は銀座・数寄屋橋交差点、ソニービル跡地に昨年オープンしたGinza Sony Parkで開催。エンターテインメント部門大賞受賞の「チコちゃん」や、史上初の2部門同時受賞となった真鍋大度氏・MIKIKO氏等受賞者も駆け付け盛会となりました。

正午からは同じく数寄屋橋交差点前の新商業施設・東急プラザ銀座の屋外ビジョンで大賞作品を紹介。屋外ビジョンを背景に受賞者等のフォトセッションも実施しました。東京マラソンも開催された3月3日までの週末、昼夜連続で放映され、銀座に訪れた多くの人々の目に触れるかたちとなりました。

本稿では、発表された各部門の受賞作品及び功労賞についてお伝えします。なお、受賞作品展は6月1日（土）から、東京・お台場の日本科学未来館を中心に開催いたします。

受賞作品の詳細及び受賞作品展に関しては、以下のウェブサイトに情報を掲載しています。

[文化庁メディア芸術祭総合ウェブサイト]
http://festival.j-mediaarts.jp/

アート部門

大賞

『Pulses/Grains/Phase/Moiré』 古舘 健

300台を越えるスピーカーとLEDライトを使用した、大規模なサウンドインスタレーション。2018年1月から3月にかけて開催された「AOMORIトリエンナーレ2017」のプログラムの一つとして、青森公立大学国際芸術センター青森で初めて発表された。コンピューターで制御される自作のジェネレーターに接続されたスピーカーが、あらかじめプログラムされたそれぞれ個別のパターンで音を発生する。また、各スピーカーに付随するLEDライトも、スピーカーの発音パターンに合わせて同じタイミングで明滅する。各個のスピーカーは一定の規則にしたがった単純なクリック音とLEDの発光しか行わないが、それらが鑑賞者を囲うように壁面一体に設置され、音と光が重層的に合わさることで、複雑なレイヤーが存在する新たな音響環境を形成する。照明を控えた空間の中で、多様なパターンを持った音と光が複合して有機的な波のようになり、鑑賞者の視覚と聴覚に向かって次々と押し寄せることになる。これまでサウンドアートプロジェクト「The SINE WAVE ORCHESTRA」のメンバーとして、ミニマムな要素と特性を拡張させて複雑な音響現象をつくり上げてきた古舘健。本作は古舘による初のソロインスタレーションとして、その作家性と創作の志向が存分に発揮された。

優秀賞

『Culturing <Paper>cut』 岩崎 秀雄

『datum』 平川 紀道

『discrete figures』 真鍋大度／石橋 素／MIKIKO／ELEVENPLAY

『Lasermice』 菅野 創

新人賞

『SPARE (not mine)』 Jonathan Fletcher MOORE

『Total Tolstoy』 Andrey CHUGUNOV

『watage』 (euglena)

エンターテインメント部門

大賞

『チコちゃんに叱られる!』『チコちゃんに叱られる!』制作チーム

何でも知っている5歳の女の子という設定のキャラクター「チコちゃん」が、素朴な疑問を明らかにしていく雑学クイズ番組。

「お別れするとき、手を振るのはなぜ?」「乾杯のときのグラスをカチン、なぜするの?」といった日常の中で生まれる疑問を、スタジオでお笑い芸人の岡村隆史やゲストに投げかけながら、専門家のインタビュー映像によって回答していく。

チコちゃんの着ぐるみは複数台のカメラで撮影された上で、放映時に頭部を3DCGのモデルに置き換える処理が行われている。置き換えられる頭部パーツは着ぐるみの頭部を精緻に3Dスキャン

したものであり、本当に着ぐるみの顔のパーツが動いているかのような表現を、目や口の形を自在に変えることで実現している。３ＤＣＧによる頭部パーツは、頭を突然大きくしたり、変顔をするなどのマンガ的な演出も可能にしており、チコちゃんというキャラクターが強い実在感をもって、スタジオでゲストと掛け合う様子が人気を博した。

番組ゲストが質問に答えられなかった際に、チコちゃんが頭を大きくしながら叱る恒例のセリフ「ボーっと生きてんじゃねーよ！」は２０１８年の新語・流行語大賞の候補に選出。世代を問わず広い支持を集めている。

優秀賞

『歌舞伎町 探偵セブン』『歌舞伎町 探偵セブン』制作チーム（代表：加藤 隆生／西澤 匠／平井 真貴／堀田 延／岩元 辰郎）

『LINNÉ LENS』LINNÉ LENS制作チーム（代表：杉本 謙一）

『Perfume×Technology presents "Reframe"』Perfume＋Reframe制作チーム（代表：MIKIKO）／真鍋大度／石橋 素

『TikTok』『TikTok』Japanチーム

新人賞

『水曜日のカンパネラ『かぐや姫』』水曜日のカンパネラ『かぐや姫』制作チーム（監督：山田健人）

『春』大森 歩

『Pixel Ripped 1989』Ana RIBEIRO / Carlo CAPUTO / Julia LEMOS / Leonardo BATELLI / William RODRIGUEZ

アニメーション部門

大賞

『La Chute』Boris LABBÉ

ダンテ・アリギエーリの『神曲 地獄篇』に着想を得た短編アニメーション。墨汁と水彩絵具による約3，500枚の絵をデジタル編集し、そこに弦楽奏の断片的な響きと電子音によるオリジナルの音楽が重ねられる。シーンは前半の地上と天上、そして後半の地獄界とに大きく分かれる。種のようなものがあり、そこから根が伸びることで形づくられる地上では、植物と人間が互いの姿に変容しながら命が循環している。その上空では、鳥のようでもあり人のようでもある姿をした天の住人が渦を描いて舞っている。墨絵の白と黒を反転させることで独特の暗さを持つ画面の中、植物、人、天の住人の中心部では鮮やかな色が躍動し、生命力が表現される。やがて地上には、楽器のような道具や建物が現れる。中盤、天の住人が舞い降りて地上の住人と交わると巨人が誕生した。巨人は地上人を食べ、地上人たちは争い、世界の破壊が始まった。やがて天上人が地上に墜落し、地獄が誕生する。ルネサンス期のサンドロ・ボッティチェッリから、ピーテル・ブリューゲル1世、フランシスコ・デ・ゴヤ、ヘンリー・ダーガーまで、西洋美術史を彩る巨匠の作品を参照しながら、循環、変容、堕落と再生という壮大なテーマを描く。

優秀賞

『大人のためのグリム童話 手をなくした少女』セバスチャン・ローデンバック

『ひそねとまそたん』樋口 真嗣

『ペンギン・ハイウェイ』石田 祐康

『若おかみは小学生！』高坂 希太郎

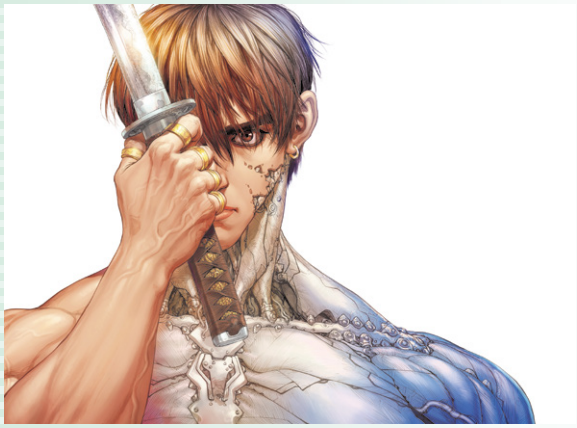
新人賞

『透明人間』山下 明彦

『Am I a Wolf？』Amir Houshang MOEIN

『The Little Ship』Anastasia MAKHLINA

マンガ部門



大賞

『ORIGIN』 Boichi

作品の舞台となるのは、あらゆる犯罪が流れ込む大都市となった西暦２０４８年の東京。そこでは限りなく人間に近い外見を持つ超高性能なＡＩを搭載したロボットたちにより、夜な夜な殺人が繰り返されていた。そんなロボットたちと敵対する主人公が、人間社会に溶け込むプロトタイプのロボット、オリジンである。オリジンは田中仁の名で世界企業ＡＥＥに入社し、自己のバージョンアップを繰り返しながら、科学者「父さん」につくられた兄弟ロボットたちと戦っている。オリジンは感情を持たずＡＩのプログラムに従って行動するが、彼の前に立ちはだかるロボットたちには感情が芽生えており、オリジンが理解できない復讐心により襲いかかってくる。生き残るために合理的な判断を続けるオリジンは、一方でいつか自分にも感情というものが生まれることを期待している。その二重性は、読み手に人間の持つ感情の由来や意味を問いかける重要な要素と言える。20kgを超える炭化タングステン超合金の日本刀を武器に、時には自らの身体の破壊を顧みずに敵に向かっていくオリジンの戦いを、細密な書き込みと高い画力により描写した。細部まで描き込まれたＳＦ設定と、ハードボイルドな世界観が、読者を強く惹きつける。

優秀賞

『宇宙戦艦ティラミス』
原作：宮川 サトシ／作画：伊藤 京

『凪のお暇』コナリミサト

『百と卍』 紗久楽 さわ

『夕暮れへ』 齋藤 なずな

新人賞

『黄色い円盤』黄島点心

『見えない違い ― 私はアスペルガー』
マドモワゼル・カロリーヌ／
原作：ジュリー・ダシェ／訳：原 正人

『メタモルフォーゼの縁側』 鶴谷 香央里

功労賞

文化庁メディア芸術祭では、第7回より日本のメディア芸術に大きく貢献した方に功労賞を贈呈しています。今回は以下の4名の方に贈られます。

池田 宏
アニメーション監督／アニメーション研究者

呉 智英 評論家

小池 一子 クリエイティブディレクター

三田村 畯右 筑波大学名誉教授

受賞作品展は新しいフェスティバルへ

6月1日（土）から16日（日）まで開催する受賞作品展は、東京・お台場を会場に新しいフェスティバルを構想しています。

受賞作品展示・関連イベントに加え、国内メディア芸術関連フェスティバル・企業等との連携プログラムなど、日本のメディア芸術振興の新しいプラットフォームとなることを目指す試みとなります。是非御参加ください。

［文化庁メディア芸術祭総合ウェブサイト］
http://festival.j-mediaarts.jp/

有形文化財（建造物）の登録について

文化庁文化財第二課

文化庁では、国宝・重要文化財以外の有形文化財のうち、保存及び活用についての措置が特に必要とされるものについて、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する「文化財登録制度」による緩やかな保護措置を講じています。

文化庁では、国宝・重要文化財の指定のほか、文化財登録制度による登録を毎年行っています。3月18日に開かれた文化審議会文化財分科会において、新たに153件の有形文化財（建造物）を登録することとなりました。この結果、官報告示を経て、全国の登録有形文化財（建造物）は、12,274件となります。以下、今回登録された建造物の中から、特徴的な6件を御紹介します。

旧九段会館　1件

所在地：東京都千代田区

旧九段会館は、内堀通りに東面して建つ複合集会施設で、昭和初期の気風を伝える和風表現の近代ビルディングです。昭和御大礼記念事業の一環として、競技設計1等案をもとに軍人会館として建てられたもので、昭和9年（1934）に完成しました。鉄骨鉄筋コンクリート造4階建てで、通り沿いの外観は両端部に城郭風の重厚な入母屋造りの塔屋を戴く、いわゆる帝冠様式の威風堂々とした姿が特徴で、要所の装飾には当時流行の軽妙洒脱なアール・デコの手法を取り入れています。九段下の街路景観の象徴的存在です。

旧九段会館

えちごトキめき鉄道二本木駅スイッチバック線雪囲い　など7件

所在地：新潟県上越市

えちごトキめき鉄道二本木駅は、市南西部の山あいにある旧信越本線の旅客駅で、明治開業以来の姿をとどめる現役の鉄道駅施設です。県内で現存唯一のスイッチバック式の駅構造で、戦前に建設された駅舎やホーム上屋、地下通路など施設一式が残り、開業当初の駅施設の構成を今に伝えています。ホーム南方の本線脇にあるスイッチバック線の線路上には、古レールの骨格の外側に短冊状に縦板を張った全長112メートルに及ぶ長大な雪囲いを設置し、豪雪地帯に特化した独特な鉄道駅の景観を形成しています。

えちごトキめき鉄道二本木駅スイッチバック線雪囲い
（写真提供：えちごトキめき鉄道株式会社）

方広寺本堂　など22件

所在地：静岡県浜松市

方広寺は、市街北方の山中にある臨済宗方広寺派の大本山で、県内最大規模を誇る木造仏殿を擁する大寺院です。大正４年（１９１５）建立の本堂は、舞台状に張り出す高欄付きの縁側、入母屋造り桟瓦葺きの大屋根や三重の梁をもつ妻飾りなど、大本山の威容を存分に示しています。本堂の周辺には大庫裡や開山堂などの堂宇が建ち並び、壮大な景観を形成しています。境内には古典的な和様の構成を見せる三重塔や格式ある大本山の表構えを形成する山門など様々な建物が適所に配置され、近代的な整備が図られた寺院の様相を伝えています。

方広寺本堂
（写真提供：静岡県伝統建築技術協会）

太郎坊宮阿賀神社本殿　など15件

所在地：滋賀県東近江市

市街西方の赤神山にある磐境信仰で知られる神社で、たろぼうさんの名で親しまれています。岩峰の僅かな平地に建つ入母屋造り、一間社の本殿は、要所に霊獣や植物の彫刻を備えるものの華美に過ぎず、丁寧なつくりの近世社殿です。本殿周辺は岩壁に張り出した舞台や拝殿、神楽殿が独特な社頭景観を形成しています。また、急峻な参道石段沿いには絵馬殿や長楽殿、永安殿など大型の社殿が建ち並び、近代に発展した境内の様相を伝えています。

太郎坊宮阿賀神社本殿など

松山城小天守　など9件

所在地：愛知県松山市

松山城は、別名「金亀城」と称される近世平山城で、城内には21棟の重要文化財が残されています。登録物件は、連立式天守の一角である小天守や隅櫓、多門櫓、門などで、昭和８年（１９３３）に焼失したものの、戦前に文部省が作成した図面をもとに、昭和42年（１９６７）に伝統木造により再建されたものです。重要文化財である天守の周りに建物をロの字形に配置する近世城郭中枢部の堅固な構えを今に伝えるとともに、市中心部にそびえ立つ城山山頂に多層建築が連なる荘重な景観を形成しています。

松山城小天守など
（写真提供：松山市教育委員会）

日本福音ルーテル久留米教会礼拝堂 など2件

所在地：福岡県久留米市

日本福音ルーテル久留米教会は、市中心部に建つプロテスタント教会です。礼拝堂は、ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計による質実剛健なつくりの教会堂建築で、大正7年（1918）に完成しました。煉瓦造（れんがぞう）、急勾配の東西棟の切妻造（きりづまづく）りで、東北隅にそびえる鐘楼の北面に玄関を設けています。外壁は煉瓦積みを現し、内部はシザーズ・トラスを用いて、柱のない開放的な空間としています。全体に簡明で装飾は少ないものの、合理的な平面構成や丁寧な仕上げに、ヴォーリズ初期の設計活動の特徴をよく示しています。

日本福音ルーテル久留米教会礼拝堂

国宝・重要文化財（美術工芸品）の指定について

文化庁文化財第一課

文化財第一課では絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料の七つの分野で国宝・重要文化財の指定を毎年行っています。今年3月に新たに指定が決定した文化財の一部について、その概要を紹介します。

3月18日に開かれた文化審議会文化財分科会において、奈良県キトラ古墳壁画など国宝3件、重要文化財41件の指定が決定しました。これで美術工芸品の指定件数は国宝893件、重要文化財9,879件となります。

国宝

昭和25年の文化財保護法制定に伴い、それまでに古社寺保存法・国宝保存法によって指定された国宝は全て重要文化財と名を改められ、その中から新法の規定する国宝を指定してゆく作業が翌年から始められました。昭和30年代前半までにその作業は一段落し、その後は新発見や調査研究の進展、保存修理の成果などを反映させて適宜指定を進めています。

絵画の部

キトラ古墳壁画

国（文部科学省所管）

昭和58年に発見され、平成16年より行われた石室内壁からの剝ぎ取りと再構成・安定化処置が完了したことをうけて昨年重要文化財となり、この度国宝に昇格したものです。四方壁に青龍・白虎・朱雀・玄武の四方四神と十二支像、天井に天文図が描かれる壁画の全体構想が判明する点が貴重で、我が国の古代絵画史を考える上で不可欠な作例と評価されます（飛鳥時代）。

彫刻の部

薬師如来立像ほか

（宗）唐招提寺

唐招提寺木彫群として知られる6軀の木彫像で、その重厚な造形には、同寺の創建者で天平勝宝5年（754）に来着した唐僧鑑真の一行がもたらした最新の中国様式がうかがえます。榧材を用いた一木造りの造法は平安前期の木彫像の多くに用いられており、木彫を主体として展開する長い日本彫刻の歴史の起点に位置付けられる重要作例です（奈良時代）。

重要文化財

重要文化財の指定は絵画・彫刻・工芸品・書跡など旧法以来の分野に加えて、昭和50年の文化財保護法改正による歴史資料指定の開始や、近代遺産の指定の促進など、次第に対象とする範囲を拡大し、また近年では大量の資料群を一括指定する傾向が強まっています。

工芸品の部

銅置物「十二の鷹」

（独法）国立美術館（東京国立近代美術館保管）

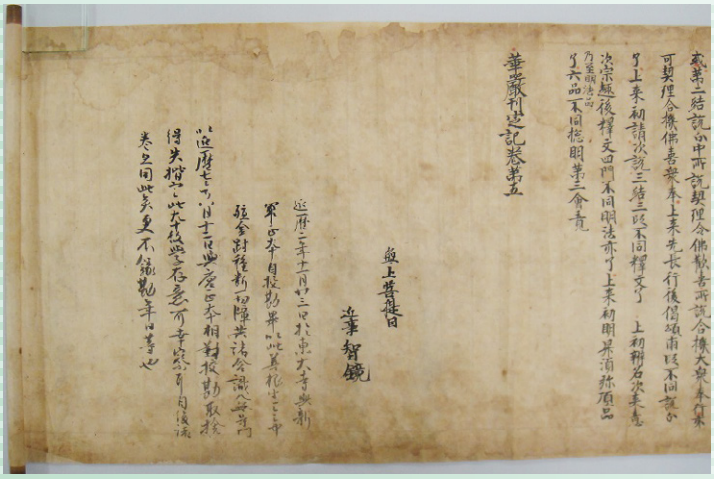
金工家鈴木長吉（1848～1919）の製作になる鷹の置物で、明治26年（1893）開催のシカゴ万国博覧会に出品するために造られたものです。江戸時代に発達した鋳金・彫金・色絵などの高度な金工技術を駆使し、架に止まる12羽の鷹の様々な姿態をいきいきと写実的に表現しており、近代金工の傑作として高く評価されます（明治時代）。

書跡・典籍の部

続華厳経略疏刊定記巻第五

（公財）五島美術館

唐の慧苑の撰述になる『華厳経』（八十華厳）の注釈書です。巻末に二つの奥書があり、それぞれ延暦2年（783）及び同7年に校合（他本との照合によるチェック）が行われたことが知られ、これをやや遡る奈良時代末に書写されたとみられます。本文中には朱書の漢数字で、日本語による語順を示す返点が付けられており、校合の際の書入れと考えられます。我が国最古の返点で、国語学上極めて貴重な品です（奈良時代）。

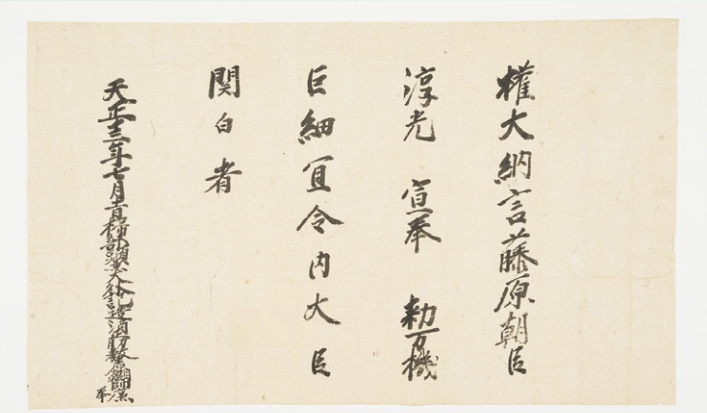


古文書の部

豊臣家文書

個人蔵

豊臣秀吉の正室、ねねの兄を初代とする足守木下家に伝わった文書群です。秀吉やその甥、秀次に官位官職を与えた位記宣旨や、明国との和平交渉に関わる切紙など多彩な内容で、豊臣家の家文書として高い価値を有すると認められます（安土桃山～江戸時代）。



考古資料の部

大分県府内大友氏遺跡出土品

大分県（県立埋蔵文化財センター保管）

豊後大友氏の拠点である府内から出土した一括資料で、当時の治世や住民の生活を示す様々な遺物で構成されます。特にキリスト教信仰に関わる品や、東南アジア産の陶磁器など、国際貿易都市として栄えた府内の様相をよく伝え、我が国の中世都市の実態を解明する上で貴重な資料と評価されます（鎌倉～安土桃山時代）。

歴史資料の部

ホジ六〇一四号蒸気動車

東海旅客鉄道株式会社（リニア・鉄道館保管）

蒸気動車とは客車に蒸気機関を搭載した車輛で、小単位での高頻度・短距離輸送に適した車輛として輸入され、明治末に国産化が実現しました。今回指定する車輛は大正2年製作の国産車輛で、現存唯一の蒸気動車です。主要部分がよく保たれており、鉄道史上、科学技術史上に高い価値を有すると認められます（大正時代）。

（写真提供：東海旅客鉄道株式会社）

文部科学省「情報ひろば」 NAVI Navigation

皆さん！「情報ひろば」を知っていますか？

「文部科学省エントランス」及び「企画展示室」において新たな企画展示を開始しました！

文部科学省ミュージアム「情報ひろば」における「文部科学省エントランス」（2F）及び「企画展示室」（旧庁舎3F）スペースを活用し、文部科学行政に関する展示と情報発信を行っており、令和元年５月より、以下の大学・研究機関等による新たな企画展示を開始しましたのでお知らせします。文部科学省への来省の際は、是非お立ち寄りください！

［開催期間］令和元年５月20日～令和元年６月21日

九州工業大学

情報ひろば「文部科学省エントランス」（2F）

・介護・見守り分野におけるセンサ行動認識システムの開発
－九州工業大学は、未来志向のAI・IoTで医療・介護の負担を減らします－

九州工業大学では、北九州市においても大きな課題にもなっている少子高齢化の影響による介護分野の労働力不足を解決すべく、自治体、地域と連携し、本物の介護現場のデータを収集し活用することで、最先端の医療・介護のためのAI及び独自の行動認識技術の発展を目指した取組を行っており、その一部を紹介します。

【パネル】 ・Q and A形式で、介護問題に九州工業大学が取り組む最新テクノロジー（AIやIoT）を活用することでどのような効果があるのかを分かりやすく紹介

【映　像】 ・センサ行動認識技術の紹介
・AIを用いた行動見守り技術の紹介

［開催期間］令和元年５月20日～令和元年６月21日

総合地球環境学研究所

情報ひろば「文部科学省エントランス」（2F）

・みんなで創る地球環境ポスター展

総合地球環境学研究所が所蔵する「国連子供環境ポスター原画コンテスト」の作品を活用した教育ワークショップの成果を御紹介します。

本展示では、草津市立渋川小学校（滋賀県）の６年生が、たくさんのポスター原画から好きな作品を選んで、その解説文をグループで話し合いながら、創り上げたものです。会場には皆様からのメッセージを残していただけるスペースを用意しました。皆様の参加で、この展覧会は完成します。

ただ受け身で絵を鑑賞するのではなく、絵のメッセージを伝える立場になることで、絵との対話は格段に深まります。子供たちが、自分たちとは異なる文化・自然の中で育った世界中の子供たちの絵と深く向き合い、みんなで話し合いながら創った展覧会に、是非御参加ください。

【実物展示】 ・国連子供環境ポスター原画コンテストの作品
【映　　像】 ・渋川小学校及び世界各国で開催した教育ワークショップの紹介動画
【パ ネ ル】 ・教育ワークショップの成果紹介パネル（渋川小学校児童による解説文）

令和元年５月７日～令和元年８月23日

筑波大学

情報ひろば「企画展示室」（旧庁舎３Ｆ）

・「スポーツ芸術表現学入門～リボーン・アートボールって何だろう？」

筑波大学では全学の学生対象の総合科目で「スポーツ芸術」を多様な観点から捉えることを通して、スポーツとアートを考える「スポーツ芸術表現学」を開講しています。このスポーツとアートの関わりを、アスリートたちが廃棄するまで使ったボールに、アートの力で新しい命を吹き込み、アート作品として再生（リボーン）させようという想いから「リボーン・アートボール」と命名しました。「エコ・スポーツ・アート」が一つになったリボーン・アートボールを紹介します。

【実物展示】
- リボーン・アートボール（完成作品）
- 制作のための材料（画材、制作用ボール）
- 「リボーン・アートボール2020」実施報告書　等

【パ ネ ル】
- リボーン・アートボールの背景
- 「スポーツ芸術表現学」授業概要
- オリンピック芸術競技歴史年表
- オリンピック芸術競技参加者一覧　等

・目指せ！「パーフェクト栄養型の食事」

アスリートの食事の基本として推奨されている、「主食」、「主菜」、「副菜」、「果物」、「牛乳・乳製品」の五つの食品区分が揃う食事を『パーフェクト栄養型の食事』と称して、その実践による『望ましい食』の自立に向けた研究及びサポート活動に取り組んでいます。その一連の研究によって開発した簡易的な食事チェック方法『ばらんすあっぷシート』及び自己チェック・自己管理用『食生活バランスチェック表』を紹介します。

【パ ネ ル】
- 「パーフェクト栄養型の食事」の解説パネル
- 「パーフェクト栄養型の食事」実践例（１日に摂取したいエネルギー量別）
- 目指せ！「パーフェクト栄養型の食事」に関連するサポート活動事例とその成果の紹介

【実物展示】
- 食生活バランスチェック表（1800kcal版、2500kcal版、3500kcal版、4500kcal版）
- ばらんすあっぷシート

令和元年５月７日～令和元年８月23日

東京家政学院大学

情報ひろば「企画展示室」（旧庁舎３Ｆ）

・「江戸時代の食文化を今に活かす」

東京家政学院大学では、教員と学生が江戸時代の料理の研究・再現に継続的に取り組んできました。

本展示では、料理の世界をビジュアルで楽しむだけではなく、栄養学・調理学の分析結果を踏まえ、江戸時代の料理を切り口とした、今日の食生活の見直しへの提言として、再現料理を取り入れた献立例を提案します。

東京家政学院大学の知的資産と、食文化研究、栄養学、調理学といった家政学の知見を総合的に融合し、次世代につなぐ食生活について提案展示です。

【実物展示】 ・料理標本「鳥団子汁」「すずめ焼き」「鋤焼」
・江戸時代料理書 『豆腐百珍』（復刻版）等

【映　　像】 ・食品サンプル製作のための再現料理の調理風景（12分）

【パ ネ ル】 ・「料理書と遊び心の料理」、「本膳料理・会席料理」 等

令和元年５月７日～令和元年８月23日

国立女性教育会館

情報ひろば「企画展示室」（旧庁舎３Ｆ）

・「女性アーカイブ資料と日本の男女共同参画の歩み」

国立女性教育会館（NWEC）女性アーカイブセンターは我が国初の「女性アーカイブセンター」として平成20年に開設されて以来、女性教育・女性運動・女性政策などに関わる史・資料を収集・整理・保存・提供してきました。これまで引き取り手がなかったために散在し、破棄されてしまうこともあった女性アーカイブ資料を収集し整備することは、歴史的事実を検証し、市民の知る権利を保障する、極めて高い公共性をもつ取組です。

展示では、国内外から収集した様々なコレクションをもとに、史・資料（一部複製）を紹介します。日本の男女共同参画の歩みが現在の社会とどのようにつながっているのか、人々が考え、語り、行動した「記録」を未来への「資産」としてどのように残し、つないでいくのか、理解を深め学ぶ機会を提供します。

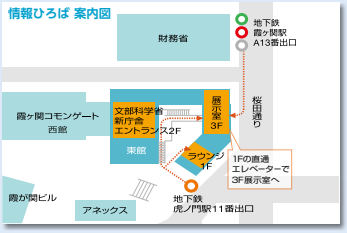
【実物展示】 ・稲取婦人学級　学級新聞　等

【映　　像】 ・「男女共同参画すごろく」電子版デモ

【パ ネ ル】 ・「女性アーカイブ」ができるまで
・アーカイブ事例：稲取婦人学級　等

情報ひろば INFO

所 在 地 ： 〒100-8959 東京都千代田区霞が関３-２-２
交通案内 ： 銀座線「虎ノ門駅」11番出口 直結
千代田線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩５分
開館時間 ： 月曜～金曜10時～18時
※入館は閉館の30分前まで　※土曜日、日曜日、祝日、年末・年始休館
入 館 料 ： 無料
〈お問合せ・団体見学申込先〉 文部科学省大臣官房総務課広報室事業第２係
TEL：03-6734-2170　Email：hiroba@mext.go.jp



情報ひろばホームページへGO ！⇒http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/
皆様のお越しをお待ちしています。是非、お気軽にお立ち寄りください。

文部科学広報

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

文部科学広報　令和元年５月号　No.234

（発行・著作）
文部科学省大臣官房総務課広報室
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL：03-5253-4111（代表）
URL：http://www.mext.go.jp/
E-mail：mextjnal@mext.go.jp